

平成30年度
市民ワークショップ
「しぶかわ まちづくりカフェ」
実施結果報告書

2018

平成30年8月

目 次

I	「しぶかわ まちづくりカフェ」について.....	1
1	開催目的.....	1
2	開催概要.....	1
	(1) 一般ワークショップ.....	1
	(2) 高校生ワークショップ.....	1
	(3) 実施手法.....	1
3	参加状況.....	2
	(1) 一般ワークショップ.....	2
	(2) 高校生ワークショップ.....	2
4	話し合いのテーマ.....	2
5	進め方.....	3
II	まちづくりに対する意見等について.....	4
1	全体概要.....	4
2	まちづくりに対する主な意見等.....	5
III	参加者アンケート結果.....	7
1	「しぶかわ まちづくりカフェ」の満足度.....	7
	(1) 一般ワークショップ.....	7
	(2) 高校生ワークショップ.....	7
2	満足度の理由.....	7
	(1) 一般ワークショップ.....	7
	(2) 高校生ワークショップ.....	8
3	「新たな気づきがあった」「自分の意見が変わった」「より考えが深まった」部分.....	8
	(1) 一般ワークショップ.....	8
	(2) 高校生ワークショップ.....	8
4	「しぶかわ まちづくりカフェ」について.....	9
	(1) 一般ワークショップ.....	9
	(2) 高校生ワークショップ.....	9

1 開催目的

市民ワークショップ「しぶかわ まちづくりカフェ」は、市民の本市に対する評価や意向等を把握し、まちづくりの指針である総合計画の進行管理や市政運営の基礎資料とすることを目的として開催しました。

2 開催概要

（１）一般ワークショップ

市民意識調査の対象者や公募の市民を対象として、渋川公民館にて開催しました。



（２）高校生ワークショップ

市内４つの高等学校（渋川高等学校、渋川女子高等学校、渋川青翠高等学校、渋川工業高等学校）に通う第２学年の生徒を対象として、渋川女子高等学校にて開催しました。



（３）実施手法

「ワールドカフェ」の手法により実施しました。「ワールドカフェ」とは、リラックスした雰囲気の中、参加者を小人数のグループに分け、度々メンバーを交換することにより、参加者全員が知識や考えを共有でき、多様な意見の創出が期待される手法です。

3 参加状況

(1) 一般ワークショップ

① 日程・会場・参加者数

日程	会場	参加者数 (人)
7月7日(土) 10:00~12:00	渋川公民館	13

② 参加者の年代構成

年代	参加者数 (人)
30代	2
40代	2
50代	1
60代	2
70代	4
80代	2
合計	13



(2) 高校生ワークショップ

① 日程・会場・参加者数

日程	会場	参加者数 (人)
7月30日(月) 9:30~11:30	渋川女子高等学校	46

② 参加者の構成

学校	参加者数 (人)
渋川高等学校	13
渋川女子高等学校	12
渋川青翠高等学校	10
渋川工業高等学校	11
合計	46



4 話し合いのテーマ

区分	テーマ
一般ワークショップ	魅力あるまちづくりについて
高校生ワークショップ	

5 進め方

第1ラウンド テーマについて探求する

【約 10 分】

参加者は、4人ずつテーブルに分かれて、市職員から当日の進め方などについて説明を受けます。

説明が終了したら、自己紹介、共通点探し（アイスブレイク）の後、テーマについて意見を出し合います。



第2ラウンド アイデアを他家受粉する

【約 10 分】

各テーブルに1名（ホスト）を残して、他の参加者は別々のテーブルに移動します。

新しいテーブルで自己紹介後、前ラウンドで話合った内容を紹介し、さらに意見の出し合いを続けます。



第3ラウンド 気づきや発見を統合する

【約 10 分】

ホストを残して、他の参加者は第1ラウンドのテーブルに戻ります。

第2ラウンドで話合った内容を紹介し、さらに意見の出し合いを続けます。



第4ラウンド 集合的な発見を収穫・共有する

【約 20 分】

各テーブルに配置した市職員が、話合った内容を発表し、参加者全体で共有します。



最後に、全体を通しての意見を付箋に書き出し、パネルに貼り付けます。他の参加者の意見を知ること、改めて参加者全員で意見等を共有します。



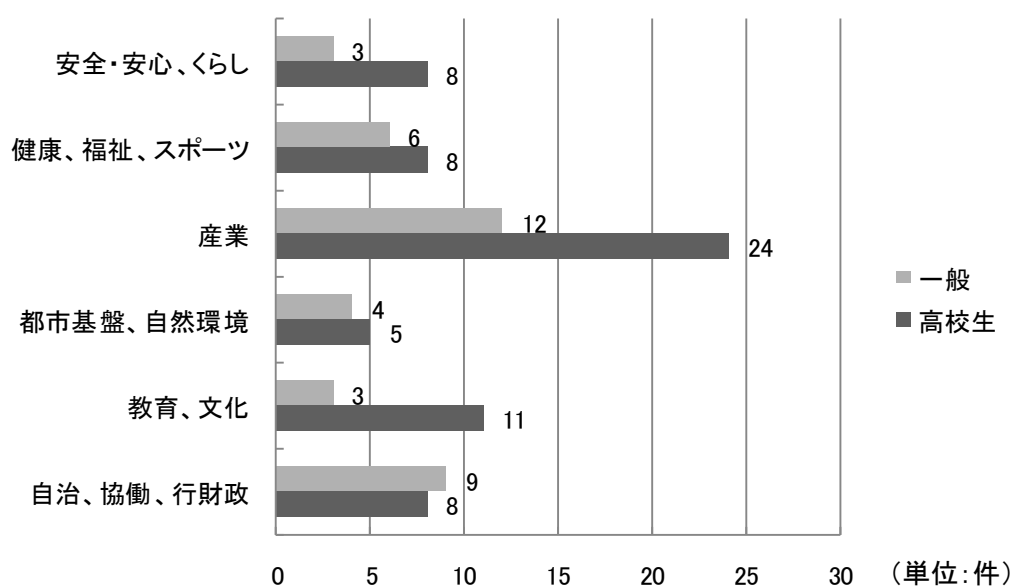
Ⅱ

まちづくりに対する意見等について

1 全体概要

「しぶかわ まちづくりカフェ」にて出されたまちづくりに対する意見等は、一般ワークショップ 37 件、高校生ワークショップ 64 件でした。これを第 2 次総合計画における 6 つの施策の分野別にまとめると、意見数は以下のとおりとなりました。

これを見ると、一般ワークショップ、高校生ワークショップのいずれも産業分野に関する意見が最も多く見られました。



2 まちづくりに対する主な意見等

「しぶかわ まちづくりカフェ」にて出たまちづくりに対する主な意見等をキーワードごとに第2次総合計画の施策の分野別に整理しました。なお、複数の分野に該当する意見については、主な分野に記載しています。

分野	一般	高校生
安全・安心、くらし	・防災に強いまちづくりに取り組む ・防災知識を大人が学べる機会を設ける	・交番を増設するなど、まちの防犯体制の充実を図る ・ゲームセンターなど若者向け施設の防犯を徹底し、安心して利用できるようにする ・安全に自転車を運転できるように自転車専用レーンを設ける
健康、福祉、スポーツ	・高齢者が抱える問題に重点的に取り組む ・高齢者が楽しく参加できるイベントを増やす ・健康診断などの検診がより受診しやすくなるように工夫をこらす ・福祉行政について社会福祉協議会と効率的に連携する	・高齢者が安心して暮らせるように介護施設を増やす ・子育てしやすいまちづくりをする ・気軽に運動できたり、いろいろなスポーツに取り組めたりできる環境を整える
産業	・市内の観光資源をいかして新たな観光ルートを創出する ・企業誘致を活性化し、若者が市内に就職しやすくする ・伊香保温泉の観光客が、伊香保以外の市内観光施設や名所にも訪れるような仕組みづくりを行う ・スカイランドパークやその付近に、大人も楽しめるような娯楽施設を作る ・市役所の外注業務は市内企業を優先して発注する ・空き店舗を積極的に希望者へ貸し出す ・小野池あじさい公園が観光しやすいように駐車場やトイレを整備する ・渋川駅前に観光者も住民も楽しめるような施設を設ける	・伊香保温泉やスカイランドパークなどの観光地行きの無料シャトルバスを運行する ・駅前通りを活性化する ・若者が好むようなおしゃれな飲食店や知名度が高く人気のあるチェーン店を誘致する ・市内の飲食店でスタンプラリーを行い、市内の飲食業界を活性化させる ・ショッピングモールなど集客力の高い商業施設を増やす ・人気のあるアーティストやアイドルのコンサートを開催する ・若者が就職しやすい環境を整備する ・豊かな自然をいかした娯楽施設を整備する ・話題を呼ぶような田んぼアートを作成する

分野	一般	高校生
都市基盤、自然環境	・デマンドバス・タクシーや乗合タクシーの拡充、電車の本数増加や路線バスの路線見直しなど交通網を充実させる ・ごみ袋の大きさを工夫するなど、ごみの減量化を図る ・未利用地をソーラー発電以外にも有効活用する	・ごみを減らし、環境にやさしいまちづくりをする ・電車やバスの本数を増やし、利便性を高める
教育、文化	・公民館活動の情報を集約して情報発信する ・赤城の史跡、文化財など既存の観光資源をPRし、文化振興を図る	・市内のイベントにおいて市内高校のPR活動を実施し、入学希望者を増やす ・高校間の交流を活発化させ、市内高校全体の発展を促す ・へそ祭りなど既存の行事や文化的な活動を活性化させる ・すたでいばんくを増やすなど、学生が勉学に励みやすい環境を整える
自治、協働、行財政	・行政に関わる相談がしやすいように窓口の案内を積極的に行う ・まちづくりを総合的に進めるために、市役所内を横断した組織を作る ・高齢者や女性が社会進出しやすい環境を整える ・市民の力を活用できるように、必要な人材を臨時的に雇用してまちづくりを進める ・市役所内の連携を推進する ・市民が一体的に取り組める事業を構築する	・市長がYouTuberとなり市のPRを行う ・渋川の情報番組を制作する ・地元アイドルチームを結成し、市のPRを行う



Ⅲ 参加者アンケート結果

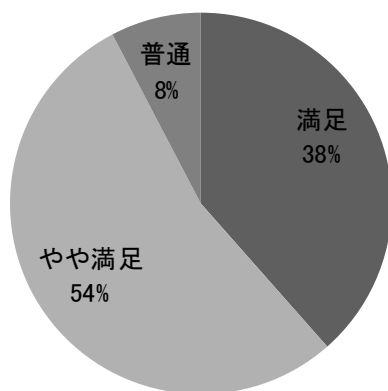
参加者に対して、終了後にアンケート調査を実施しました。「しぶかわ まちづくりカフェ」の満足度や自由記述の主な意見を以下に示します。

なお、内容が同じものについては集約して記載しています。

1 「しぶかわ まちづくりカフェ」の満足度

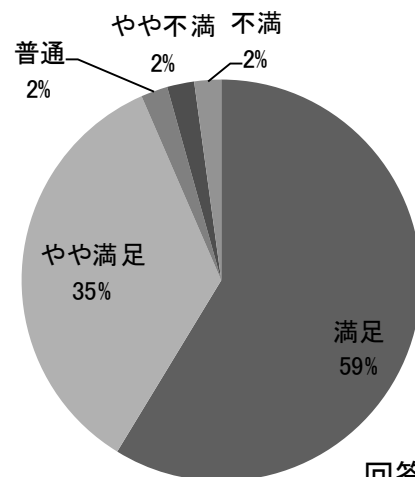
(1) 一般、(2) 高校生のいずれも「満足」(一般 38%、高校生 59%) が最も高く、次いで高い「やや満足」と合わせた『満足』の割合が一般 92%、高校生 94%となっています。

(1) 一般ワークショップ



回答者n=13

(2) 高校生ワークショップ



回答者n=46

2 満足度の理由

(1) 一般ワークショップ

【満足】

- ・初対面の人と交流ができて楽しかった
- ・様々な年代の人と意見交換できたことがよかった
- ・話しやすい雰囲気で楽しく参加できた
- ・若い人の意見を聞くことができ、若い頃の感覚を思い出せた

【やや満足】

- ・話し合いの時間がやや短かったので、もう少しゆとりがあればよかった
- ・ワークショップの結果がどのようにして市政に反映されるのか不明

【普通】

- ・同年代の参加者が少なかった。20代や30代などの若い世代にもっと参加してほしい

(2) 高校生ワークショップ

【満足】

- ・他校の生徒と交流できたことが楽しく、新しく気づくことがあった
- ・いろいろな意見に触れ、共感することや自分とは異なる考え方への理解を深めることができた
- ・多くの人と話し合いをすることは苦手だったが、楽しく取り組めた
- ・自分が知らない渋川の良い点を知ることができた

【やや満足】

- ・リラックスして会話できた
- ・男女それぞれならではの意見を知ることができた
- ・渋川市が抱える課題を知ることができた
- ・もっと具体的なテーマのほうが話しやすい

【普通】

- ・テーマの種類がもう少しあると話の幅が広がると思う

【やや不満】

- ・ワークショップのエチケットとして「他人の意見を否定しない」としているが、意見を深めるためには、否定することも必要だと思う

【不満】

- ・今回のワークショップが市の発展に役立つのかわからない

3 「新たな気づきがあった」「自分の意見が変わった」「より考えが深まった」部分

(1) 一般ワークショップ

- ・自分が知らないことが多かったので、もっと様々な情報に敏感になりたい
- ・子育て世代や他の世代の考え方が理解できた
- ・自分の殻にこもらずに、いろいろなことに興味を持ちたい
- ・高齢者の移動手段の確保が大変であることに気づいた

(2) 高校生ワークショップ

- ・多様な意見を聴き、よい影響を受けたり、視野を広げることができた
- ・自分が知らなかった渋川の魅力を知ることができた
- ・電車の本数を増やしてほしいと思っているが、本数を増やすには利用者が増えないと難しいことを知り、観光振興や人口増加に取り組むことが必要だと思った
- ・渋川には、渋川ならではの魅力があるので、そうした魅力をいかせればよい
- ・他人が自分と同じような考えを持っていることに気づいたので、そうした考えが市政にいかされればよりよいと思う
- ・渋川は田舎で魅力が少ないと思っていたが、それを逆手にとって自然をいかした魅力づくりをする発想が新鮮だった
- ・市外からの通学者（市外在住者）の意見が参考になった
- ・バスを使うことがないので、バス利用者の不便さを知った

4 「しぶかわ まちづくりカフェ」について

(1) 一般ワークショップ

- ・今回のような意見交換の機会を増やしてほしい
- ・市長も交えてワークショップをしたい
- ・ワークショップの意見を市政にしっかりと反映してほしい
- ・市民が積極的に市政に関与することが大切だと思う
- ・今後もワークショップを継続してほしい
- ・20代、30代を対象にしたワークショップをしたい

(2) 高校生ワークショップ

- ・実施回数を増やしたり、定期的に実施したりしてほしい
- ・他校の生徒と交流できたことが楽しかった
- ・男女比に偏りがあったので、同じ比率で実施したらもっと活発になる
- ・会場を渋川駅付近に設置すれば、駅を利用する高校生が参加しやすくなる
- ・雰囲気が明るく楽しかった
- ・今回出た意見をぜひ市政にいかしてほしい